

総合的な探究の時間（SERA 探究Ⅰ） 報告資料

グループ 地域商品 PR

連携先

- ①LINE ヤフー②一般社団法人世羅町観光協会道の駅世羅③有限会社加藤食品
④有限会社世羅きのか園⑤こだま試験農場株式会社⑥株式会社恵⑦臨済宗佛通寺派修善院

探究の中心となる問い

- ・自分たちが知らない世羅の特徴や商品について理解する
- ・世羅の商品の特徴を理解した上で商品を販売して人々に世羅の良さを知ってもらう

探究の過程

A：人々に世羅の良さを知ってもらう活動

- ・5W1H を活用し商品の販売先を明確化した
- ・SNS を活用し世羅の良さについて広めようとし計画を立てテストをした

B：LINE ヤフーT 人材育成プログラム

～WEB マーケティングショッピングサイト運営体験コース～

- ・道の駅世羅で販売する商品のセットの組み合わせを決めた
- ・LINE ヤフーからマーケティングや写真の撮り方や商品ページの作成方法などを学んだ
- ・商品ページの作成と販売
- ・生産者の人達に話を聞きに行き商品への思いや商品の特徴を教えていただいた
- ・広島テレビ『ひろおく便り』に出演した

成果と課題

成果

A：人々に世羅の良さを知ってもらう活動

- ・テスト動画を作った
- ・マーケティングの方法を自分たちなりに考えられることができた
- ・集客方法を自分たちで考えられた

B：LINE ヤフーIT 人材育成プログラム

WEB マーケティングショッピングサイト運営体験コース

- ・商品ページを自分たちで作りに上げられることができた
- ・買い手の人たちにより買ってもらえるような写真の撮り方を学べた
- ・テレビ出演で多くの人たちに世羅の商品を伝えられた

課題

- ・時間管理（スケジュール管理）
- ・集客方法と購入層のギャップ
- ・商品ページの見直し

地域商品PR

【取り組み内容】

LINEヤフーIT人材育成プログラムに参加し、道の駅世羅の商品をYahoo!ショッピングで販売するため、生産者様へのインタビューや試作・試食、商品の写真撮影、インスタに投稿する動画作成、チラシの作成、商品ページの作成などに取り組みました。

【ジビエチーム】



質の高いジビエを愛犬のおやつやご褒美などにどうぞ！

【松きのこ・松なめこチーム】



世羅で生まれた松きのこ・松なめこ、世羅産の野菜がたっぷりのセットです！



味も香りも最高のセットです!!

【冷凍中華点心セットチーム】



瀬戸内六穀豚が使われています!!



冷凍中華点心セットです！パーティーなどにぜひご購入ください！

【章駄天チーム】

章駄天セットでほっと一息つきませんか？



総合的な探究の時間（SERA 探究Ⅰ） 報告資料

グループ 防犯・防災

連携先

世羅警察署

探究の中心となる問い

- ・ SNS の普及に伴い進化する犯罪から世羅町の人を守るために私たちにできることは何か

探究の過程

- ・ 世羅警察署の担当の方の講話を聞く
- ・ それを元に情報収集
- ・ 収集した情報をスライドにまとめ、安心安全大会や防犯教室で発表

成果と課題

成果

- ・ 11月1日 安心安全大会
- ・ 12月12日 スマホ相談会での講話
- ・ 1月23日 防犯教室(世羅小学校)
- ・ 講話や防犯教室を通して、世羅町の幅広い年代の方に SNS を使った犯罪について伝えることができた。
- ・ アンケートなどを利用して、世羅町民の防犯意識や理解度を把握し、高めるために活動を考え、実践した。

課題

- ・ 講話や防犯教室の効果があったのかを明確にすることができなかった。

防犯・防災グループ

目的：防犯教室や地域交流を通して世羅町を安心安全な町にする！！

【一年を通しての活動】

11. 1 安心安全大会

SNS型投資ロマンス詐欺についての講話を実施

詐欺の特徴や対策方法などを伝えることができた



12. 12 スマホ相談会

福祉グループと協力しスマホ相談会
講話内容：SNSを利用した詐欺
国際電話を利用した詐欺

スマホの便利さだけでなく、スマホを利用した詐欺もあるということが伝えることができた



1. 23 防犯教室

インターネットに潜む危険についての防犯教室を世羅小学校で実施

小学生にネットの利便性だけでなくネットの危険性や利用する上でのルールなどを伝えることができた



啓発動画

110番通報の適切な利用について啓発動画を作成
オリジナルストーリーを交え、具体的な場面を想定し、よりわかりやすくなるように説明した。



総合的な探究の時間（SERA 探究 I） 報告資料
グループ 国内観光

連携先

①世羅町観光協会 ②せらワイナリー ③世羅幸水農園 ④道の駅 世羅

探究の中心となる問い

- ・世羅町に来る観光客の増加のためにできることは何か
- ・全国の人に世羅の良さを知ってもらうためにどうしたら良いか

探究の過程

◎チラシ作成

- ・道の駅に設置（50枚） →全て手にとって見てもらうことができたポイント
- ・手軽な旅行のために日帰り旅行ができるプラン
- ・旅行の流れが意識できるような配置
- ・世羅のそれぞれの四季の良さに着目した

◎SNS(Instagram)の開設・投稿

- ①道の駅…せらっぷりん 世羅バーガー
- ②夢吊り橋…橋
- ③大成龍神社…参拝 絵馬
- ④幸水農園…梨狩り
- ⑤ワイナリー…ミニ SL ソフトクリーム
- ⑥県民公園・せら夢公園…遊具
- ⑦今高野山…紅葉

成果と課題

成果

- ・チラシは作ったもの(50枚)全てを手にとってもらうことができた

課題

〈チラシ〉

- ・チラシを全て手にとってもらうことはできたが第三者による評価をしてもらう術が無かったため効果を明確に確かめられなかった
- ・チラシを見てその場所を訪れてもらったのかを検証することができなかった

〈Instagram〉

- ・投稿数が少なく、また、投稿までに時間が掛かり、あまり周りに宣伝できなかった
- ・世羅高校生以外の人への閲覧数が少ないこと
- ・旬やその季節にしか見れないものを投稿できなかった→梨狩り、季節の花畑
- ・おすすめに載らなかったのていろんな人に見てもらう機会が減ってしまった
- ・有名な発信者とのコラボでインスタを見てもらう機会を増やす
- ・インスタの投稿場所の事前の情報収集を徹底する



国内観光



1

現状・課題

- ・世羅に観光に来る人が2019年のピーク時に比べ300人ほど減っている📉

仮説

- ・チラシやポスター設置すれば、観光客が増加する📈
- ・Instagramを活用すれば、全国の人に世羅の良さが広まる!!



2

探究の過程

- ①他県での事例の調査
- ②世羅町の観光名所の現状調査
- ③チラシ作成
仮作成→完成
- ④Instagramのアカウント開設
写真撮影・編集・投稿



@SERATANN_HIROSHIMA

3

成果

- チラシ
- ・道の駅においたチラシを50枚全て取って貰えた
↓
チラシをおいたことで観光客が増えた

Instagram

- ・世羅町観光協会さんに協力して頂いて投稿することができた
- ・Instagramを投稿した結果、観覧数が1000回で伸びていた

〈成果資料〉



4

課題

- チラシ
- ・チラシの効果を確かめることができなかった
- ・枚数が少なかった
- ・バリエーションを多くする

Instagram

- ・投稿数、頻度が少ない
- ・投稿するのに時間がかかりすぎた

総合的な探究の時間（SERA 探究 I） 報告資料

GROUP 国際観光(International Tourism)

連携先(Cooperation destination)

- ①農事組合法人世羅幸水農園 Sera Kosui Farm
- ②世羅道の駅 Sera road side station
- ③世羅ワイナリー Sera Winery
- ④世羅高原農場 Serakogen Farm
- ⑤甲山ホテル Kozan Hotel

探究の中心となる問い(The central question of the inquiry)

- ・どうすれば世羅に外国人観光客（インバウンド）が増えるのか。
How can we increase the number of foreign tourists in Sera?

探究の過程(The process of exploration)

- ①JNTO の資料や他の資料をもとに、アジアチームとヨーロッパチームに分かれて日本や世羅町のインバウンドの現状分析をした。
- ②世羅町に来る外国人観光客が少ないことがわかった。
- ③世羅の魅力をまとめ、インドネシア、ベトナム、ノルウェー、スイス、ドイツの方にプレゼンテーションとインタビューをした。
- ④実際にプレゼンしてインバウンドが少ないことは世羅町のことを知っている人が少ないからだとわかった。
- ⑤世羅のことをもっと知ってもらう必要があると考えた。
- ⑥PR 動画とガイドマップで世羅町の魅力を伝えれば外国人観光客が増えると考えた。
- ⑦ツアープランを考え、ガイドマップの制作を進めた。
- ⑧世羅町の各観光地を訪問し、インタビューと動画撮影を進めた。
- ⑨ベトナム大使館へ行って活動報告をした。
- ⑩編集した動画を youtube に載せた。

成果と課題(Achievements and challenges)

成果

- ・観光プランを考えた。
- ・ガイドマップを作成した。
- ・「ベトナム社会主義共和国から世羅町へのインバウンドを活性化させる取り組み」について、作成したガイドマップを示しながら英語を使ってベトナム大使館で発表した。
- ・YouTube に PR 動画を投稿した。

課題

- ・作成したガイドマップに飛行機の値段、必要経費の詳細を表記していなかったが、ベトナム大使館での発表を通して、そこが旅行者の求めている重要情報だとわかった。
- ・空港から世羅町へのアクセスが悪い現状にあるため、そこをどうカバーしたツアープランを作るか考える余地あり。

International tourism team



<problem>

The number of international tourists is small.

<solution>

To increase the number of international tourists we made videos and a Sera tour map.

Europe

-Produce by Sera high school students-



Asia

-Sera tour map-



-Vietnam Embassy-

I gave a presentation at the
Vietnamese Embassy.



総合的な探究の時間（SERA 探究 I） 報告資料

グループ 商品開発

連携先

- ①一般社団法人国産ジビエ認証機構
- ②日本政策金融公庫

探究の中心となる問い

- ・世羅町の農産物を使用した新たな商品を考える。

探究の過程

- ・世羅町の農産物を調べる。
- ・商品開発の方法を学ぶ。
- ・農産物を活用した商品を考える。
- ・実際に製造をする。
- ・試食を行い、アンケートより商品の改善を行う。
- ・納得できる商品となるまで繰り返し試作を行う。

成果と課題

成果

- ・グループ内でさらにチームに分かれ、5つの商品開発を行うことができた。
- ・地域農産物を活用することができた。
- ・仮説を立て、試作を作り、さらに良いものになるようブラッシュアップする主体的な学びのサイクルを行うことができた。
- ・ビジネスプランコンテスト・レシピコンテストにチャレンジすることができた。
- ・チーム内発表会では、それぞれ工夫し、スライド、原稿を作成し、発表することができた。
- ・各自で他の発表の評価をすることができた。

課題

- ・目標としていた販売までをすることができなかった。
- ・家庭科の調理とは違い、完成されたレシピでないものを作ることが想像以上に難しく、失敗することも多かった。
- ・しっかり話を詰めずに試作を行い、作業手順等、時間を無駄にする場面があり、しっかり計画を立て試作を行う必要がある。
- ・コンテスト提出書類の内容を深めるためには、裏付け資料が必要であり、その調査をより深くしなければならない。

世羅茶を使った 抹茶スノーボールクッキー

はじめに

私たちは若者がお茶を淹れて飲む機会が減っていると
知り気軽に食べられるスイーツ作りをおこないました
使った世羅の特産品を世羅茶です。

活動内容



学んだ事

- 1、準備の重要性
- 2、時間管理とコミュニケーションの重要性

まとめ

1人だとしても複数人で何かやるとしても細かい計画を立て時間配分を考えながら活動する事が大切だと思いました

ジビエ料理チーム

目的



私たちの目的は世羅町を含め全国的に問題になっている鳥獣被害とジビエの食品ロスの問題に取り組む

現状



このグラフは農林水産省によって発表されているイノシシとシカの捕獲頭数の推移を示しています。このグラフから分かるように年々、捕獲頭数は増加していています。そしてこれに伴い鳥獣による様々な被害も増えています。

活動内容

ジビエ料理コンテストへの応募



ジビエ料理コンテストについて
このコンテストでは近年、鳥獣被害対策や地方創生、SDGs、など様々な要因で注目されている鹿や猪といった野生鳥獣の『ジビエ』を多くの方が家庭で作れて安全でおいしく楽しめる料理を募集していた。

料理

どんな家庭でも作れて親しみやすいもの

ハンバーグ



梅かおる鹿肉ハンバーグ



工夫した点
料理のポイントは、梅肉を使ったソースと大根おろしです。梅肉を使うことで鹿肉の控えめながらも独特な味わいに風味が加わります。さらに大根おろしがさわかな味わいを加え、一口ごとに鹿肉の豊かな風味を堪能できるようにしました。また、ネギやトマトを添えたことで色どりを加え見栄え良くなるようにしました。

まとめ

コンテストでは結果を残すことはできませんでしたがジビエに関する問題やその問題に対して私たちにできることを学ぶ事ができた。

ONE PLATE IS VERY SATISFYING !!
MAKING SWEETS BOX



スイートポテト

秋の味覚を活かした
優しくて濃厚な甘味に。
あえて裏ごしは行なわないことで
さつまいもの食感を残した。



ココアブラウニー

チョコは使わずココアパウダーのみで
作ることで、甘すぎずどっしりとした
満足感を与え、全体の食べ応えをアップ



アイスボックスクッキー

サクサクした食感と、見た目の
可愛らしさをプラス。
食べる前から見た目で楽しむ。



はちみつレモンゼリー

焼き菓子の後にお口の中をさっぱり
させてくれる爽やかな一品！！
はちみつは世羅産のものを使用。

総合的な探究の時間（SERA 探究Ⅰ） 報告資料

グループ スポーツ

連携先

- ①世羅町教育委員会 社会教育課

探究の中心となる問い

- ・高齢者と子どもたちが一緒に楽しめるスポーツを通して少子高齢化を考える

探究の過程

- ・世羅町のスポーツに関する状況
- ・パラスポーツの種類
- ・スポーツ推進委員、活用
- ・子ども食堂でのイベント協力
- ・世羅町スポーツ事業への参加
- ・健康寿命について 先行事例
- ・スポーツイベントについて 先行事例

成果と課題

成果

- ・世羅町のスポーツ事業について調べ、教育委員会 社会教育課と連携し状況を把握 7/4
- ・世羅町のスポーツ事業への参加協力
(セラパラ 9/27 世羅町ボッチャ大会 3/15 参加)
- ・世羅町スポーツ推進委員を活用してのパラスポーツ体験 10/10
- ・パラスポーツの種類と概要についての理解
- ・保育グループで実施した子供食堂においてスポーツグループとして子供たちが安全に楽しめる競技の計画実施

課題

- ・こどもと高齢者が共に楽しめるスポーツイベントを目標にしたが実現できなかった
- ・世羅町との連携不足もあり具体的な計画を立てられなかった

～SERA QUEST～

SPORTS TEAM

● 活動内容

世羅町の抱える「スポーツ」についての
課題・現状を調査

目標を掲げてその解決に向けて
取り組みを考え計画し、実施

● 取り組み

世羅スポーツ推進課訪問
卓球バレー体験
世羅パラ運営・サポート
子供食堂企画・運営
世羅の現状調査

● 協力団体

世羅町教育委員 社会教育課
世羅町 スポーツ推進委員



総合的な探究の時間（SERA 探究 I） 報告資料

グループ 福祉

連携先

- ①世羅町役場
- ②ソフトバンク株式会社

探究の中心の問い

- ・高齢者のデジタルデバイド解消のためにできること

探究の過程

- ・福祉を知る
- ・スマホ相談会に参加する
- ・高齢者向けの簡単レシピを作る
- ・スマホ相談会を企画・運営する

成果と課題

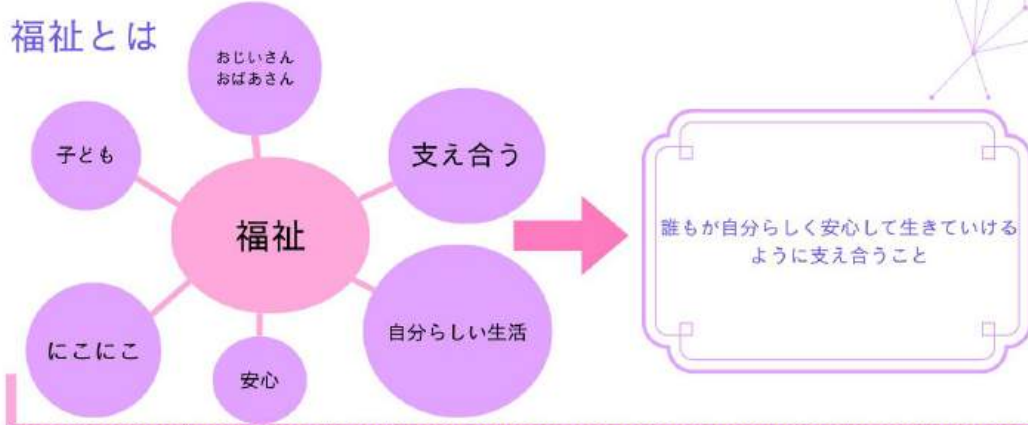
成果

- ・高齢者の身近なスマホの悩みに答えることができた
- ・簡単なレシピや運動を提案することができた
- ・高齢者の方との接し方を学べた
- ・地域の方と交流ができた
- ・地域社会へ貢献ができた

課題

- ・敬語の使い方
- ・操作方法の伝え方（説明が難しい）

福祉グループ



スマホ相談会実施

7月11日

3年生が運営しているスマホ相談会に参加させていただきました！



12月12日

1回目のスマホ相談会での気づきや反省点をふまえて自分たちで運営をしました！



お孫さんやご夫婦で楽しく料理をしていただくための『簡単レシピチャレンジ』を紹介しました。これは、高齢者の方が家での暮らしをもっと豊かにするためのアイデアです。

りんご寒天
 【材料】
 ・りんご 2個 ・リンゴジュース 350cc
 ・寒天末 2g ・糖 適量
 ※好きな場合は砂糖やほろみつき大さじ1〜を加える
 (作り方)
 ①大き目のざるでりんごを洗い、皮をむいて芯を取り、くし形にする
 ②鍋に水またはリンゴジュースを入れ、そこに砂糖や糖を入れて溶かす
 ③塩もみしたりんごを洗い、皮をむいて芯を取り、くし形にする
 ④おろし金でりんごをすりおろす
 ⑤寒天末を入っている鍋にすりおろしたりんごを加えて、よく混ぜる
 ⑥お湯を注ぎ、沸騰するまで混ぜ、アクを取る
 ⑦パットやココットに流し入れる
 ⑧乾燥機を取り、低温で冷やし固める

簡単自宅トレーニング

米粉のバナナ蒸しパン

材料 2人分
 ・米粉 100g
 ・バナナ 1本
 ・卵 1個
 ・砂糖 50g
 ・ベーキングパウダー 5g
 ・ココアパウダー 5g
 ・お湯 100cc

作り方
 ①バナナを潰す
 ②米粉、砂糖、ベーキングパウダー、ココアパウダーを混ぜる
 ③バナナ、卵を加えて混ぜる
 ④お湯を加えて混ぜる
 ⑤型に入れて蒸す

高齢者の方々がより健康的に生活できるように『簡単自宅トレーニング』を紹介しました。その名の通り簡単に自宅でトレーニングし健康寿命を伸ばしてもら頭のアイデアです。難易度ごとに分けることで実践してもらいやすくする工夫をしました。

総合的な探究の時間（SERA 探究 I） 報告資料

グループ 保育教育グループ

連携先

①世羅甲山ライオンズクラブ様 ②世羅町子育て支援課 ③ハローズ財団

探究の中心となる問い

- ・子ども食堂を通じて子育てについて考え、世羅町に残りたいと思う若い世代を増やすことができるのではないか。
- ・回数を増やすことで地域の子ども・保護者の交流の場所となるのではないか。

探究の過程

6月	1年間の計画作成	11月	第3回子ども食堂
7月	企画・チラシ、小道具制作	12月	第4回子ども食堂・子育てティーチン参加
8月	第1回子ども食堂	1月	まとめ・発表準備
9月	チラシ作成・企画・試作	2月	第5回子ども食堂 ※予定
10月	第2回子ども食堂		

成果と課題

- ・第1回 「せら夢カフェ」子ども食堂 @せら温泉（令和7年8月26日（火））
- ・第2回 子ども食堂 @世羅高校（令和7年10月10日（金））
- ・第3回 子ども食堂 @保健福祉課フリースペース（令和7年11月28日（金））
- ・第4回 子ども食堂 @世羅高校（令和7年12月14日（日））
- ・【予定】第5回 子ども食堂 @世羅高校（令和7年2月6日（金））

(1) 成果

- ・ハローズ財団からの奨学金を活用することで、昨年度までの2回から5回へと実施回数を増やすことができた。
- ・平日の部活動体験型子ども食堂を行うことで普段ボランティアに参加しない生徒も子どもと触れ合う機会ができた。
- ・様々な場所で行うことができた。（放課後体験型は保護者の方から「ありがたい」という言葉を多くいただいた。）
- ・世羅町で育った野菜や農業経営科が育てた野菜を使用した献立や、生活福祉科によるワークショップ、他のSERA探究グループの企画した内容を実施することができ、世羅高校の強みを最大限に活かすことができた。
- ・ボランティアにはのべ150人以上の世羅高生に参加してもらうことができた。

(2) 課題

- ・第3回子ども食堂は宣伝が不十分であった →フリースペースの良さを伝えるところから行う必要がある
- ・第4回子ども食堂は、企画の場所が分散してしまったため、迷ってしまう方がいた →大きな看板や地図の改善を行う必要がある。（高校生に聞いたら優しく教えてくれましたという意見もあった。）
- ・継続的な取り組みの必要性
→今回は8月以降約1か月に一回のペースで実施することができたが、小学校の先生方や校長先生、部活動顧問や世羅甲山ライオンズクラブ、世羅町子育て支援課の方々に負担をかけてしまった。運営の形については検討の必要がある。

つなげ、世羅の温もり

～高校生と創る、日本一子育てしやすい町への第一歩～

子ども食堂

〈活動場所〉

せら温泉、世羅高校

フリースペース

〈活動内容〉

食事の提供

クッキングや部活動の体験

室内アフティビティ

子育てティーン

〈活動場所〉

世羅高校

〈活動内容〉

子育てについて保護者との

意見交流

子どもとの交流



おにぎり提供も
行いました!



意見交流を
行いました!

成果:

実施回数を2回から5回

ボランティア 150人以上

参加者 300人以上

課題:

校内回が分かりにくい

食事スペースの不足

協力:

世羅甲山ライオンズクラブ様

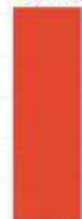
世羅町子育て支援課様

95.7%



高校生の対応への満足度

98.7%



食事への満足度

部活動体験の内容や高校生の対応の満足度



肯定的な回答100%

保育・教育グループ

総合的な探究の時間（SERA 探究 I） 報告資料

グループ 異文化理解

連携先

- ①社会福祉法人みつば会
- ②株式会社トッツデイサービスセンターふぁみりいせら

探究の中心となる問い

- ・海外から世羅町に来た人と私たちが共に安心して楽しく生活ができるようにすること

探究の過程

- ・ 6/13 ミャンマーの方との交流会
- ・ 11/21 第一回アニメ上映会
- ・ 12/5 第二回ラーメン作り&ガイドブック贈呈

成果と課題

成果

- ・海外の方とのコミュニケーションができたこと。
- ・日本文化を知ってもらうことができたこと。
- ・世羅のルールや良いところをもっと知ってもらうことができたこと。

課題

- ・私たちのコミュニケーションが受け身になっていたため沈黙が続いた時のための話題やゲームなどを準備しておくべきだった。
- ・一度で終わらずに、継続的に続けていくこと。
- ・イベント後にゲストに対してのアンケートを実施しなかったため私たちが行った活動の効果が十分に検証できずに終わってしまった。
- ・ガイドブックの内容があまり伝わっておらず一緒に開いてゲストの反応をもう少し見る必要があった。
- ・海外の方との交流やコミュニケーションの難しさなどを実感できたこと。
- ・海外の方との交流を持ち続けること。
- ・『海外の人も住みやすい町づくり』にするにはイベントなどを企画したりするなど工夫し続けることが大切なことだと学べたこと。

異文化理解グループ



活動目的

世羅町にいる外国人が住みやすい街を作る
イベント企画



ラーメン
おいし〜



第一回映画
鑑賞会

ガイドブック作成



世羅町のおすすめグル
メとゴミの出し方につ
いてまとめました！



これらによって得られた成果

外国の方との交流を深めることができた
お互いの国の文化を知ることができた

総合的な探究の時間（SERA 探究 I） 報告資料

グループ システムエンジニア（SE）

連携先

- ①大田庄歴史館
- ②福智院
- ③道の駅世羅
- ④ソフトバンク株式会社

探究の中心となる問い

- ・地域の課題を解決するために、ペッパーくんを活用できないか。

探究の過程

- ・～10月末頃 ペッパーくんを活用するためのプログラム作成
 - 昨年度の先輩方が作ったものに改良を加え、近隣のカフェ福智院と連携したクイズのプログラムを作成した。
 - 地元の小学生へのお披露目会を行った。
 - クーポン期間終了後用のプログラムの修正やクイズの問題数の追加を行った。
- ・11月～12月初旬 子ども食堂に向けたゲーム作り
 - scratchで子供が遊ぶための様々なジャンルのゲームを作成した。
- ・その他、地域のイベントで使用する背景動画の作成を行った。

成果と課題

成果

- ・昨年のプログラムを発展させ、新たにクイズのプログラムを作成し披露した。

課題

- ・事前準備が不十分で、肝心のお披露目会当日にトラブルが起きてしまった。
- ・pepperくんによる集客効果が不十分だと感じた。
- ・子ども食堂で、子どもたちへのルールや仕様の説明が不十分で不具合が起きたりプレイがスムーズに進まなかったりした。
- ・事前準備やコミュニケーションを徹底することの大切さを学んだ。
- ・「歴史館の来館者を増やす」という課題を達成するための周知がもっと必要

～1年間の取り組みのまとめ～



プログラミング で地域の課題を解決

取り組み

- ①ペッパーくんのプログラムを作成し歴史館に設置する
- ②宣伝するためのポスター作成・道の駅への掲示
- ③近隣のカフェ「福智院」のクーポンがもらえるクイズの作成
- ④お披露目式

成果

③ コウノトリの翼を広げた時の長さは何メートルでしょうか

- ①1m ③2m
②1.6m ④3m



④



②



①

課題

- ・ペッパーくんの調子に左右されていた
- ・キャンペーンの実施をきっかけに歴史館やカフェに足を運ぶ人は少なかった

課題の解決

- ・大規模な広報活動で集客 (インターネット・SNS)
- ・不調時の代替策 (タブレットの活用)



まとめ

根本的に解決はしていない。

問い「地域の課題を解決するためにプログラミングを活用できないか？」

これに対し



広報活動・代替案の考案を行って
地域活性化を促す